

経済的負担の軽減については、子ども手当などの国の支援も動き出しているが、市としても十分に研究していきたい。

②乳幼児医療費を含めて、時代の流れの中で必要なものは、十分協議をしながら進めていきたい。ワクチンの公費助成については、国が助成する方向性を打ち出している。本市もそれを受けて対応したいと考えている。

③少人数学級については、じっくりと議論を深めていきたい。就学援助の対象については、クラブ活動費・生徒会費・PTA会費の三項目は検討をしている。また、認定対象世帯については、従来の考え方を今後も継続していきたい。



会派視察報告
公明党

八月四日から六日までの日程で視察を行った。

福島県福島市では、「中学生下リームアップ事業」について視察した。五日間にわたって職業的な体験をするもので、受け入れ事業所は約八百箇所に及んでいる。保護者も引率等のボランティアに関わることから、家族のふれあいや学習意欲、不登校生の登校意欲向上にも効果が見られたとのこと。何より受け入れ先の理解が必要であることを実感した。

山形県山形市では、「コミュニティファンド」について視察した。



コミュニティファンドについて視察



上山市での視察

た。一般市民・企業等から寄附金を行政の窓口で受けて、補助金として市民活動支援に活用するという画期的な制度である。補助する団体についても、参加者投票の結果で決定するという、市民に対して公開の場で行われていることは注目すべきことである。

山形県上山市では、「協働のまちづくり」について視察した。大学とNPO、地域が連携し、江戸時代から残る古い建物をギャラリーとして大学生が改修活用したり、浴衣の似合うまちづくりを掲げて小学校で着付け教室を行う等、地域資源の再発見という発想が素晴らしかった。

福岡県中部十市議会議長会
正副議長・事務局長研修会

去る十月十四日～十五日、本市主催により、中部十市議会議長、副議長及び事務局長による研修会が山口県周南市において行われ、議会改革の取組みと水資源循環プロジェクトについて研修・現地視察を行った。

議会改革については、市議会への住民の関心が高まる中、住民に開かれた議会実現に向けての様々な取組みについて説明を受けた。議長選挙における立候補制の導入、委員会懇談会の開催、予算決算常任委員会の設置などが大変参考となった。

水資源循環プロジェクトでは汚水と海水を混合して処理することで、低コストで環境への負荷が少ない造水が可能で、地域の渇水対策や水資源問題の解決に大変有効である取組みであった。

※福岡県中部十市議会議長会とは、筑紫野市、小郡市、太宰府市、宗像市、古賀市、朝倉市、糸島市、福津市、大野城市及び春日市の十市議会議長により構成される会です。

十二月定例会
会期日程予定

- 一日本会議(議案の上程、提案理由の説明)
- 議会運営委員会
- 議案の考案
- 二日議案の考案
- 三日本会議(議案質疑、委員会付託、決算議案採決)
- 議会運営委員会
- 四日休会(閉庁)
- 五日休会(閉庁)
- 六日各常任委員会議案審査
- 七日各常任委員会議案審査
- 議会編集特別委員会
- 八日各常任委員会(議案審査)
- 九日休会
- 十日本会議(一般質問)
- 十一日休会(閉庁)
- 十二日休会(閉庁)
- 十三日本会議(一般質問)
- 十四日決算審査特別委員会
- 各常任委員会(議案採決)
- 十五日議会運営委員会
- 各常任委員会(閉会中の調査事件の調整等)
- 十六日本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

※都合により変更になる場合があります。